



女子中高生夏の学校 2016

～科学・技術・人との出会い～

参加報告

(写真提供
上右・中右・下右：国立女性教育会館、

日本分子生物学会は、中高生への教育活動の取り組みとして、『夏学（なつがく）』こと「女子中高生夏の学校」（主催：国立女性教育会館／科学技術振興機構「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」採択）に、2005年のプログラム開始当初から参加しています。

『夏学』は、合宿研修を通じて、女子中高生と研究者・技術者、大学生・大学院生等が少人数単位で親密に交流し、理系進路選択の魅力を伝えるものです。文系・理系を問わず、科学・技術の分野に興味・関心のある女子を対象としています。また、女子中高生の進路選択について、身近な支援者である保護者や教員向けのプログラムも設定されています。

生徒さんたちが興味を伸ばし、理系進路選択の希望実現に向かうには、保護者や先生方のご理解とご協力が大切です。



●**実行委員長**

■**横倉 隆和 会員**（沖縄科学技術大学院大学）

2016年の夏学は8月6日（土）～8日（月）の2泊3日で開催され、115名の女子中高生、27名の保護者・教員が参加しました。本学会では今年も会員から協力者を募り、実験・実習、ポスター発表、キャリア相談などを行っていただきました。



●**ポスター**

■**稲城 玲子 会員**（東京大学）
「腎臓の仕組みや腎臓病を知る」

中高生の頃に夏学を経験した夏学OGの大学生・院生が企画する進路相談プログラムにも協力します。生徒さんたちからは、メンター希望の指名を受けることも。

ウイルスに感染した生物の体内でどのような変化が起きるのか、最新の研究成果を例に説明します！

●**ポスター**

■**植松 崇之 会員**（北里大学）
「ウイルス感染症を科学する」



講師役の研究者・技術者同士が異分野の世界を気軽に覗けるのも夏学の魅力のひとつです。

健康長寿社会のためには腎臓老化を防ぐことが重要。メタボ気味の方や若くても不摂生しがちな方は、自覚症状が出る前に生活習慣を見直しましょう。慢性腎臓病（CKD）をもっと知ってもらうための、人気ボーカロイドと一緒に踊るスタイリッシュなプロモーションビデオもありますよ！



生命科学の楽しさだけでなく、学位取得後のキャリアパスの難しさなど、問題になっていることもきちんと伝えた上で、生徒さんの将来の夢を後押しするには、どのように接するのが良いでしょうか？

●**キャリア相談**

■**田代 有美子 会員**（日本歯科大学）



●**実験・実習**

■**下池 貴志 会員**（国立感染症研究所）
「ウイルスを知ろうーウイルス粒子模型の作製」

上記会員各位をはじめ、分生チームとして夏学の運営を支えてくださった会員の皆様、夏学を盛り上げるサポート物資をご提供くださった会員・企業の方々より、多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。

来年の『夏学』をお手伝いしてくださる会員を募集します。詳しくは学会会報2017年2月号で！

